

「九州圏広域地方計画」の策定に係る九州圏広域地方計画協議会会長

(談 話 要 旨)

日本の成長センター「ゲートウェイ九州」～新しい風を西から～

急激な人口減少をともなう少子化や高齢化の進展、巨大災害の切迫など、我が国を取り巻く変化の潮流を目の当たりにすると、現役世代として、次世代に対するひとつの役割、責任を感じます。

海・山・温泉など豊かな自然に恵まれている九州圏は、経済成長が著しいアジアと地理的・歴史的に近いことが絶対的なアドバンテージです。

近年、アジアの経済成長にともない農林水産物や自動車の輸出など九州圏の産業が活性化するとともに、外国人旅行者の数は過去最高の水準を記録しています。また、社会資本整備の進展にともなうストック効果が発現しつつあり、物流・人流の活性化によって企業立地や観光等が進展しています。

本計画は、九州圏が伸びゆくアジアの活力を取り込む日本の成長センター「ゲートウェイ九州」となり、新たな発展の機会を創出し、日本の経済成長に貢献することを目指すものです。

今後10年間を想定した計画として、九州における国土の形成に関する方針、目標、主要な施策を明らかにするため、協議会における協議内容を踏まえて、本日、決定されました。

今後は、行政に加えて、地域住民、民間事業者、NPO・ボランティア団体など多くの皆様の協力を得て、いかに本計画を実効性あるものとし、着実な推進を図っていくかが大変重要です。

九州圏が一体となって、一丸となって、何より、スピード感をもって取り組む必要があります。エビデンスを積み重ねることも求められています。地域の強みや資源を掘り起こし磨いてとんがらせ、きらりと光る「九州らしさ」を創生すべきで、今が、競争力強化のためのアクションを起こす絶好のチャンスです。

協議会においても、今後もこれまで以上に密に連携・調整を図りながら、計画の推進に向けて努力していく所存です。国の機関、県、政令市を始めとする関係の皆様におかれても、計画の推進について一層のご支援・ご協力をよろしく申し上げます。

平成 28年 3月 29日

「九州圏広域地方計画」及び「九州ブロックにおける社会資本整備重点計画」
の策定に係る九州地方整備局長

(談 話 要 旨)

本日、国土交通大臣により決定された九州圏広域地方計画は、今後10年間の想定した計画として、九州における国土の形成に関する方針、目標、主要な施策を明らかにするため、九州圏広域地方計画協議会における協議内容を踏まえ、計画が策定されたものであり、大変意義深いものです。

本計画の実現に向けて、国の機関、県、政令市を始めとする協議会の一員として、関係機関、地域住民、民間事業者、NPO・ボランティア団体の皆様と協力し、多方面に関わる施策、事業の一層の推進に取り組めます。

また、広域地方計画に定める九州圏の将来像や地域戦略の実現に向け、九州ブロックの社会資本整備の具体的な計画を示すものとして、本日、広域地方計画と同時に、九州ブロックにおける社会資本整備重点計画を策定しました。

今後は、この計画に基づき、九州ブロックを取り巻く内外の経済社会情勢の変化等に柔軟に対応しつつ、ストック効果の最大化に向けた取組など社会資本整備の重点事項等について、効率的な社会資本整備に努めてまいりたいと考えております。

両計画の実現に向け、適切に取り組んでいく所存でございますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成28年3月29日